

事業の背景・目的

珠洲市は豊かな里山里海と多様な生物を有しており、国と石川県の希少野生動植物種に指定されている希少ゲンゴロウ2種にとっては全国有数の生息地となっている。これまで、希少ゲンゴロウ2種については、珠洲市が策定した計画や、石川県の条例と保全対策などにより、ため池の維持や環境配慮型農業の促進、小学生向けの教育活動、保全推進員によるモニタリング調査が行われている。

一方で、社会的な背景やこれまでの活動に起因する課題により、ため池や水田の環境悪化が進んでいる。今後の長期的な保全を目指し、地域住民の理解や協力を得るため、現状把握の調査とその結果などを説明した上で、取り組み方法を相談することが求められている。

事業の内容

希少野生動植物種および生物多様性の持続的保全に向けた現状調査と住民等への説明やワークショップの実施やモニタリング調査への参加を促すことで、住民主体の保全活動を持続的に行う体制構築を促進する。

令和元年

事業① 調査事業

- ・市内のため池生物調査の準備・実施
- ・調査結果のデータベース化

事業② 普及啓発事業

- ・調査等に関する事前説明
- ・啓発資料の作成

令和2年

事業② 普及啓発事業

- ・市民参加型のため池の生物調査の実施
- ・調査等の説明会・今後の取組み検討会
- ・啓発資料の掲示・配布

令和3年

事業② 普及啓発事業

- ・市民参加型のため池の生物調査の実施
- ・調査等の説明会・今後の取組み検討会
- ・啓発資料の掲示・配布

得られた成果

ため池所有者・管理者の会合で調査の事前説明を実施した後、専門家のアドバイスを受けながら調査方法調査方法を決めた。調査は一つの池に対し11月と3月に実施し、調査員として市内のNPOや住民の方から協力を得て、98箇所のため池を対象に現地調査を行い、71箇所のため池で水生生物を採集した。その結果、希少野生動植物種を含む96分類群の水生動物を確認した。

今後は、今年度の結果を地域住民に伝え、今後の方針を協議する機会を作っていく。調査未実施のため池については、ため池の所有者・管理者や地元住民に希少野生動植物種を含む生物多様性の重要性を伝えながら、現状を知ってもらうためにも調査に住民が参加できる体制を整えていく。調査に際しては、調査未経験者でも取り組める内容にし、結果をデータベースに加えていく事で、経年変化が分かるようにしていく。